

令和8年9月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が多い状態が続いています。
- インフルエンザの患者報告数がさらに増加し、昨年より1か月半早く注意報発令基準となっています。
- 新型コロナウイルス感染症の患者報告数も増加傾向です。

◇ 全数把握の対象 <2026年8月24日～2026年9月13日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	15件	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2件
腸チフス	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
E型肝炎	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	3件
A型肝炎	2件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4件
エキノкокクス症	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
エムボックス	1件	梅毒	14件
マラリア	1件	播種性クリプトкокクス症	1件
レジオネラ症	4件	百日咳	3件
ウイルス性肝炎	1件		

1. **腸管出血性大腸菌感染症**: 10歳代～60歳代で、O血清群はO157が7件、O111が1件、O103が4件、O55が1件、O91が1件、不明が1件です。無症状病原体保有者は6件です。感染経路等は経口感染と推定される報告が5件、経口・接触感染と推定される報告が1件、不明が9件です。
2. **腸チフス**: 10歳未満で、感染経路は経口感染と推定されます。
3. **E型肝炎**: 50歳代と70歳代で、無症状病原体保有者は1件です。感染経路は経口感染と推定される報告が1件、輸血からと推定される報告が1件です。
4. **A型肝炎**: 20歳代と30歳代で、感染経路等は経口感染と推定される報告が1件、不明が1件です。2件ともワクチン接種歴は不明です。
5. **エキノкокクス症**: 30歳代で病型は単包条虫です。感染経路は動物からの感染と推定されます。
6. **エムボックス**: 40歳代で、感染経路等は接触感染と推定されます。
7. **マラリア**: 10歳代で、病型は熱帯熱です。感染経路は蚊からの感染と推定されます。
8. **レジオネラ症**: 60歳代～90歳代で、病型はすべて肺炎型です。感染経路等は水系感染と推定される報告が2件、不明が2件です。
9. **ウイルス性肝炎**: 50歳代で、病型はB型です。感染経路等は不明、ワクチン接種歴はありません。
10. **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**: いずれも70歳代で、感染経路等は院内感染と推定される報告が1件、不明が1件です。
11. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**: 40歳代で、血清型はG群です。感染経路等は不明です。
12. **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**: すべて20歳代で、病型は急性HIV感染症が1件、無症状病原体保有者が2件です。感染経路等は性的接触(同性間1件、異性間1件)が2件、不明が1件です。
13. **侵襲性インフルエンザ菌感染症**: 30歳代～90歳代で、感染経路等は接触感染と推定される報告が1件、不明が3件です。ワクチン接種歴は無しが1件、不明が3件です。
14. **侵襲性肺炎球菌感染症**: 80歳代で、感染経路等は不明です。ワクチン接種歴は不明です。
15. **梅毒**: 10歳代～60歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期9件、早期顕症梅毒Ⅱ期4件、無症状病原体保有者が1件です。感染経路等は性的接触による感染と推定される報告が13件(すべて異性間)、不明の報告が1件です。
16. **播種性クリプトкокクス症**: 80歳代で、感染経路等は免疫不全その他と推定されます。
17. **百日咳**: 10歳未満～20歳代で、感染経路等は家族内感染と推定される報告が1件、不明が2件です。ワクチン接種歴は4回が2件、不明が1件です。

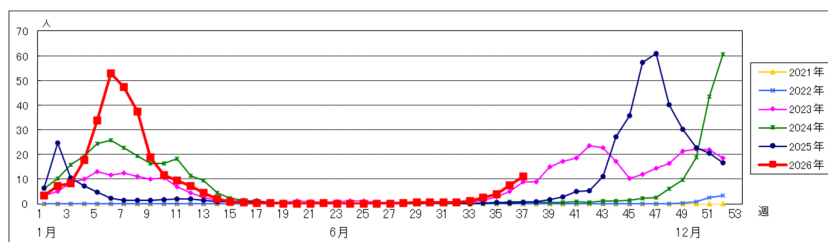
◇ 定点把握の対象

※ 2025 年第 14 週(3 月 31 日～4 月 6 日)以降、小児科定点は 94→51、
内科定点は 59→39 医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2026年第35週	8月24日～8月30日
第36週	8月31日～9月 6日
第37週	9月 7日～9月13日

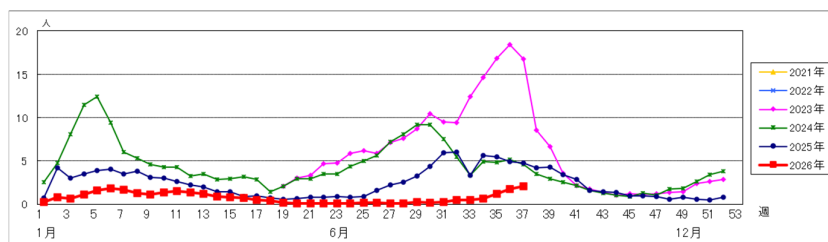
1 インフルエンザ

2026年第 33 週(8 月 10 日～8 月 16 日)に 1.17 となり、流行期入りの目安となる 1.00 を超えました。その後も報告数は増加し、第 37 週は注意報発令基準となる 10.00 を超え、11.06 となりました。年齢層別にみると、7 割以上が学齢期までの患者で占めています。



2 新型コロナウイルス感染症

2025 年は 10.0 を超えることはありませんでしたが、2026年は第35週(8 月 24 日～8 月 30 日)より報告数が増え始めました。第 37 週は 2.05 となっており、幅広い年齢層で患者が報告されています。



3 性感染症(2026 年 8 月)

性器クラミジア感染症	男性:24件	女性:17件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:17件	女性:10件
尖圭コンジローマ	男性:13件	女性:1件	淋菌感染症	男性:11件	女性:3件

4 基幹定点週報

	第35週	第36週	第37週
細菌性髄膜炎	0.00	0.25	0.00
無菌性髄膜炎	0.50	0.50	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.50	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(2026年8月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
-------------------	-----	----------------	----

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ウェブページ

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/>